

刊 夕 日四十二月一十 行發 日四十二月一十 (刊休日翌日祭臘日)

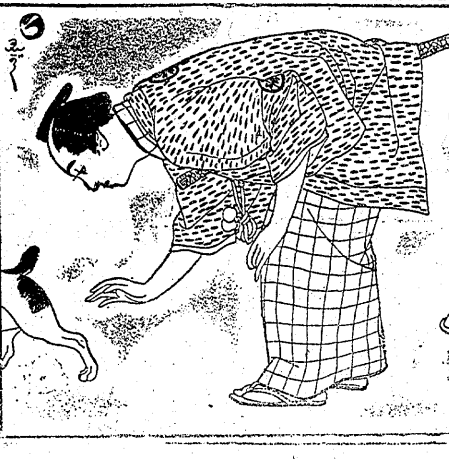
創海の陰影 五 伊納川 銀

店で何か買物をする事なぞで、いよいよ、いよいよ、食ひしんばたましい犠牲になつてあげな女だからして、おたらのわ!

挿華微笑 因む百三十三本 通れ陪審員候補表立つた仲人になつて下さる? と二歩... ニヤーン...

病床餘録 池上 富司 社会より離れ病にうめく人、人のみが居る、この病院に秋の雨をそそぐ

艶女長兵衛 東京 新波南更 (魚崎潮遊) 長「叔父さん一寸待つて山町の山田さんにも話し、



仙臺JOHR 廿五日(水曜) 九〇〇〇 氣象通報 九〇〇〇 料理師立(豚肉)

告 象通報 告知事項 △二〇〇〇 家庭大學講座 (論理學) 早稲田大學教

大和田醫院 平町南町 院長 上田 耕作 電話 二一九番

吉田眼科病院 平町紺屋町 十一月末日まで スベテ赤字時代ノ新年度値下

